



亮 村

株式会社アドバンスト・メディア 執行役員 VoXT 事業部長

務が発生しております。 現場では、議事録作成や情報共有、 重要な役割を担っています。議会活動の とのコミュニケー はじめに 地方議会は、 持続可能なまちづくりを推進する 地域住民の声を政策に反 -ションなど、多くの業域作成や情報共有、住民

会では、限ら 特に地方議

音声認識と生成AIで実現する、

様な業務を担 れた人員で多

作成の負担が大きな課題となっていま う中、議事録

速に進化した生成AI技術の活用によ 向上を実現しています。加えて、近年急 会の会議音声を自動で文字化すること VoXT(プロボクスト)」を開発。議 st(スクライブアシスト)」「Pro 会向けサービス「ScribeAssi oice(アミボイス)」を活用した議 なりました。 メディアでは、 こうした課題に対し、アドバンスト 議会業務のさらなる効率化が可能と 議事録作成の効率化と議事録の質の AI音声認識「AmiV

議員ごと・質問の趣旨ごとに 柱として注目されています。 成支援サー 式で要約を自動生成する「議会だより 特に、議会の一般質問の議事録から、 -ビス」は、議会DXの新たな 答形

手市議会専用に最適化された音声認識エ 容をYouTubeで配信する際に、取り、これを活用することで、本会議の内 Ο となっています。また、 の議事録を当日中に作成することが可能 現することで聴覚に課題を抱える方や、 ンジンを用いて、 必要な修正作業を加えることで、初校版 会における会議音声を自動で文字化し、 Assist」には、音声認識結果を2 ■導入事例: 事例を中心にご紹介します。 omの字幕として出力する機能があ 茨城県取手市議会では、 議会DXの推進 高精度な字幕表示を実

Sc r i b e

を実現しています。 様に対して、より分かりやすい情報提供 議会内容を視覚的に把握したい住民の皆

## 作成支援サービス ■議会DXのさらなる展開:議会だより

分類・編集作業も、AIによって迅速か 政・自治体業務の効率化が急速に進んで つ高精度に処理できるようになりまし います。従来は人手に頼っていた要約・ 生成AI技術の進化により、

も大きな変化をもたらしています。その 供する「議会だより作成支援サービス」 報公開や住民とのコミュニケーションに この技術革新は、地方議会における情 アドバンスト・メディアが提

-ビスは、 AI音声認識「Am

例として、茨城県取手市議会での導入 A I を活用した議会DXの取り組み事本稿では、こうした音声認識と生成 本会議や委員 を自動生成します。 を活用して議員ごと をもとに、生成AI て作成された議事録 問一答形式で要約 質問の趣旨ごとに ice」を用い

○14番(西村陽介君)

○14億 (四代開7日) 一元28省以入十一 ○14億 (西村陽介君) ○議長 (井朝城一君) ○総務部長 (田中悠介君) ○市民協園課長 (海老原方君)

▼ 「この要約を削除

?

事録から発言を精査源です。しかし、議 を支える重要な情報り、住民参加型自治 る作業には多くの時 間と労力がかかり、 を住民に分かりやす 会の活動や審議内容 議会だよりは、 要約文を作成す 局職員にと 議員や事務 議

○24番(竹内真由君)

票約結果· 2025/07/01 14:13:22

⊕ 令和7年度予算編成方針について

○23番 (伊藤美咲君)

○23番 (伊藤美咲名

一覧音等リスト

○23番 (伊藤美咲名)

○3番 (伊藤美咲名)

令和7年度予算編成方針において、市民福祉の増進に寄与するとの地方自治法の基本が捉

令和7年度予算編成方針は、市の基本計画「未来創造プラン2024」の重点施策に沿って策 定されており、市民福祉の向上を目指している。具体的には、「快適で住みやすい都市の

実現」など6つの基本項目を設定し、全庁的に新年度予算編成を進めている。将来都市像 「ぬくもりとやすらぎに満ち、共に活力を育むまち」を目指し、全庁一丸となって取り組

負担となっ 7 って大きな 11 ま

2.要約する

○20番(佐々木直人君

プロ報 (佐々木画人名
一発音等リスト
一発音等リスト
② 図番 (佐々木直人名)
② 課長 (井田城一名)
② 設施経緯部長 (岩河悠太名:
○ 対策経緯部長 (岩平城名)
○ 対策接着 選長 (第中城名)
○ 対策接着 (資本現太名:

竹内貫由です。通告順にお伺いします。まず初めに、令和7年度予算編成方針について伺います。10月22 日に示された令和7年度予算編成方針の中で、市の財政状況は引き終を厳しい状況にあり、予算編成は極 めて厳しいものとなることが想定される、歳出全般について節減・合理化措置を積極的に講じることによ

り、徹底した精査を行うとしています。令和7年度子野編成方針に、市民編祉の増進に寄与するとの地方 自治法が求める基本が捉えられているのか、市長にお伺いいたします。

またなど、内が国外の影響的に受けないと、手、用の自体の自上に等するかという影響的ですが、子 無機能に対して、不能の影響的に要かない。 本体の動体的自上に等するかという影響的ですが、子 ではません、その中で、予算機に当たっては、地方自体影響が一点は一点をかったが多い大学に対する時 において、非常が場合でするの場合があると思うが思い。 もから 他の一点がませたいろ、からかない において、非常が場合でするの場合があると思うが、というない。 しることから、これに基づき予算機は方針を毎年間がは、庁が各球への予算機は影響から合かせてある。 してとしてあります。 他の 才様の予算機は行わてきましては、のが会社であるを表現的ラから としております。 他の 才様の予算機は行いてきましては、の名学社であるを表現的ランシのが

履歴呼び出し

○12番 (小提修君

○12番 (小堤 修名)

発言者リスト

○12番 (小坂 作名)

○2番 (小坂 作名)

○放牧 経路(中田城一名)

○放牧 経路(京 ( 近河 悠太名)

○放り 経路(京 ( 近河 悠太名)

○放り 発信 淳子 ( 坂本 悠 賞 名)

1.ファイル読み込み

○8番(青木美月君)

発言者リスト

8 番(青木美月君)
(番長(井林鏡中君)
(福延が長(田中真理君)
(福祉が長(田中真理君)
(福祉が長(毎田お花君)
(政策推進が長(毎田お花君)

答弁を求めます。 財政部長、鈴木翔太君。

地方議会DXの最前

議事録をアップロー 本サー -ビスでは、

け、質問と回答を一問一答形式で要約。ドするだけで、発言内容を自動で振り分 き」として市の公式サイトに掲載してい 茨城県取手市議会では、この機能を活用 一般質問の内容を「ウェブ版ひび

うになり、議会の透明性向上と市民参加かりやすい形式でいつでも閲覧できるよ の促進に大きく貢献しています。 住民は、議員の質問と行政の回答をわ

## おわりに

をもたらしています。議事録作成の省力 の情報共有や参加促進にも大きな可能性 方議会の業務効率化だけでなく、 音声認識技術と生成AIの活用は、 住民と 抽

> ティ向上、そして議会だよりの自動要約化、字幕表示による情報のアクセシビリ による広報業務の革新は、議会DXの実 そして議会だよりの自動要約

アドバンスト・メディアでは、こうし現に向けた重要なステップです。 現場の声を大切にしながら、 のモデル構築に挑戦し続けます。 もに、地域課題の解決と新しい地方自治 支えてまいります。 ビスの進化を通じて、 た技術を通じて、自治体・議会の皆様とと 地方議会の未来を 技術とサ 今後も

き」は以下のQRコ ※ウェブ版 からご覧いただ つびび

けます



しせしたのじます。 市村・「年初でナル海線の大計・ごささしては、中の場合計画でもの本水路のブラリ の温盛無に高いるがで、「程金では今かでは他の大変」、「他の前点」を指し、「未来をつくる前代を 同じまちつくり」、「帰席でいせいさした社会が実現」、「小切に自然かられる機能機」、「不可 の指揮する地址社会が機能」ののごを基本的目して記憶していまります。 現在、この中無線が力に設さ 6. 全分的に単位学者の構成を進めているところで、集中間におきましても、共和部権であり 「個々もりとかっては出き、上に込みを持ちまり」を目指し、近分十分とはつて取り組んでおいた。 -子どもの医療費無料化について、現状と実現可能性をどのように考えているか。 回答 〇健康增進部長(彦坂 哲君) いというふうに考えております。 現在、子どもの医療費助成は県と市町村の共同事業である医療福祉費支給制度(マル福)

と、市独自のぬくもり医療支援事業により実施している。完全無料化には約7,000万円から1億円程度の一般財源が必要であると試算される。市単独での実施は財政的に困難であ 竹内真由さん。 )、全国一律の制度創設が望ましいと考える。今後も国や県に対して働きかけを行い、制

取手市で活用されている「議会だより作成支援サービス」画像イメージ